

日本学術会議大型研究計画とその後の展望

Master Plan of Large Research Projects 2017 and its Future

*大久保 修平¹

*Shuheï Okubo¹

1. 東京大学地震研究所

1. Earthquake Research Institute, University of Tokyo

日本学術会議による「学術の大型研究計画に関するマスタープラン」（以後、マスタープランと言う）の改訂は、2016年2月上旬から3月末日まで公募された。2016年6月ごろまでにまず、200程度の大型研究計画が決まる見込みである。本ユニオンセッションでは、各課題の概要を発表していただき、大型研究計画の中から重点大型研究計画候補として推薦すべき研究課題について、地球惑星科学委員会で決定する予定である。

キーワード：日本学術会議、マスタープラン2017、重点大型研究

Keywords: Science Council of Japan, Masterplan 2017, Selected Research Project